

全国の主な食虫植物展

夏休みは各地の植物園で食虫植物展が開催されます。主な展示会を紹介します。

新潟県立植物園(新潟市)
7月18日(木)~9月1日(日)
食虫植物とおもしろ植物展
/ファーバースコープなどを
使って実物を観察できる。
温室入館料:大人600円(☎
0250-24-6465)

夢の島植物園(東京都)
7月23日(火)~9月1日(日)
熱帯の生き物展 / 8月3日
(土)・4日(日)は、食虫植物
の捕虫実験のほか、即売会
なども。入園料:一般250円
(☎03-3522-0281)

**箱根湿生花園(神奈川県・
箱根町足柄下郡)**
7月20日(土)~8月31日(土)
ちょっと気になる食虫植物
展(100種700点) / 開催期
間中の毎週水曜日と土曜日
13:30から、食虫植物ミニ教
室を開催。入園料:大人700
円(☎0460-84-7293)

咲くやこの花館(大阪市)
7月20日(土)~9月1日(日)
世界のふしきな食虫植物
たち / 期間中はミニ講座や、
ハエトリグサの擬似捕虫実
演も行う。入館料:大人500
円(☎06-6912-0055)

手柄山温室植物園(姫路市)
7月20日(土)~9月1日(日)
食虫植物展 / 約100種300
点を展示。入園料 / 大人
200円(☎079-296-4300)

広島市植物公園(広島市)

7月27日(土)~8月8日(木)

世界の食虫植物展 / 7月28

日(日)は食虫植物実演会も。

入園料 / 大人500円(☎
082-922-3600)

*入場料・入園料は当日の一般料
金です。そのほかの料金、および
開園時間、休園日などについては、
各会場等にお問い合わせください。



冬越しは暖かく!

ウツボカズラ(ネペンテス)の仲間

比較的、低温と乾燥に強いネペンテス・ベントリコーサがよく出回っていて、比較的の栽培が簡単な種類。夏は直射日光を避け、冬は暖かい場所で湿度を保つて冬越しさせる。(写真／ネペンテス・ベントリコーサ)

置き場	夏は涼しく風通しよく、年間日当たりで管理するが、真夏は半日陰か、50%遮光下に置き、葉焼けを防ぐ。
水やり	真夏は1日に2回、午前中と夕方に水やりを行う。年間を通して水ゴケが乾かないように、常に湿らせておく。
冬越し	最低温度は15℃以上が必要。詳細は別項を参照のこと。

【ウツボカズラの仲間の年間の管理・作業暦】

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	生育期		開花期									
置き場	明るい室内*	日なた	半日陰か遮光下	日なた	明るい室内							
水やり	3~5日に1回	1~3日に1回	1日1回	1日2回	1~2日に1回							
主な作業	植え替え・株分け	さし木	ナメクジの発生予防・捕殺									

*ビニール袋か、水槽に入れて管理。詳細は下記。(関東地方以西基準)



虫を
与えても
いいの?

ウツボカズラの冬越し

11~3月

常に高温と高湿度を保つことが大切です。空気が乾燥しやすい冬は特に注意が必要。冬越しの最低温度は15℃以上、湿度は80%が最適。冬越しには以下の2つの方法がおすすめです。2つの方法とも、日中は明るい場所に置き、夜間は暖かい場所に移動させます。

●水槽に入れて

水槽に日向土の中粒か、細粒の砂を敷き、霧吹きで土を湿らせる。その上に鉢をのせ、透明なポリ袋を利用してふたをする。月に1~2回程度、水ゴケの湿り具合をみて、水やりを行う。砂も乾いていたら湿らせる。

●ポリ袋に入れて

水やり後、1日おいて、大きめの透明のポリ袋(写真は45L)に入れて、口をひもで縛り、密封する。月に1~2回、水ゴケの湿り具合をみて、水やりする。湿度を保つには一番簡単な方法。

東北地方(日本海側)

(園芸研究家・阿部文雄)

ウツボカズラの仲間は耐寒性が低いので、冬は室内で管理し、夜間は段ボールなどに入れ、保温すると安心。モウセンゴケは1年を通して戸外で管理する。冬は寒風に当たらない場所に移動させる。

ウツボカズラの仲間はハエトリグサは無加温のハウスや室内の、日当たりのよい場所で管理する。湿度を高めに保つ。ムシトリスミレの仲間は寒さに強い種類を選び、冬は日当たりがよく、鉢土が凍らない程度の室温で管理する。

ハエトリグサは半日陰か遮光下で栽培し、夏は半日陰かレース越しの光で育てる。水切れに注意。冬は室温が上がりすぎない。室内に取り込む。(北海道大学星野洋一郎)

北海道地方

北国の 主な管理・作業

食虫植物は、熱帯から温帯、また冷涼な土地まで、幅広く自生しています。意外に暑さに弱かったり、寒さに強かったりと、種類によって差があります。4種類それぞれの特性に注目して、栽培のコツを解説しています。なお肥料は年間を通して施しません。

水やりはたっぷり!

ハエトリグサ

原産地の北アメリカ(ノースカロライナ州～サウスカロライナ州)は、東京、大阪に比較的近い気候なので、基本は冬も戸外で栽培可能。特に病害虫はない。(写真／ハエトリグサの花)

水やりはたっぷり!

モウセンゴケの仲間

日本原産のコモウセンゴケ、オーストラリア原産のヨツマタ(ヤツマタ)モウセンゴケ、北アメリカ原産のイトバモウセンゴケ(写真)などが強健で、日本での栽培に適する。年間、戸外で日当たりのよい場所で管理し、冬は寒さに当てる。

水やりはたっぷり!

ムシトリスミレの仲間

日本原産のムシトリスミレは、冷涼な環境でなければ育たず、温暖地での栽培はやや難しい。アメリカ南部原産のピンギキュラ・プリムリフロラ(写真)、メキシコ原産のアシナガムシトリスミレ(ピンギキュラ・モラネンシス)などが栽培に適する。

種類別

栽培のポイントと注意点

置き場 真夏は半日陰、もしくは50%遮光下。

それ以外の季節は日当たりのよい場所。

水やり 鉢の表面の水ゴケが乾いてしまうと、株が弱るので、乾く前に行う。

真夏は皿に水を入れて底面給水も効果的。2~3日に1回は水を交換する。

冬越し 最低温度は-5℃。冬は冬芽になるが、水やりは行う。

【ハエトリグサの年間の管理・作業暦】

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	休眠期		生育期				開花期					休眠期
置き場	日なた		半日陰か遮光下	日なた								
水やり	3~5日に1回		1~3日に1回	1日1回			1日1回					3~5日に1回
主な作業	植え替え・株分け											植え替え・株分け

*春の成長にそなえて冬の間休眠する芽のこと。翌春、芽は葉や花になる。

(関東地方以西基準)

置き場 真夏は半日陰、もしくは50%遮光下。

それ以外の季節は日当たりと風通しのよい場所。

水やり 鉢の表面の水ゴケが乾いてしまうと、株が弱る。

常に湿った状態にしておく。

冬越し 9月ごろから冬芽が出て、冬越しをする。

【モウセンゴケの年間の管理・作業暦】

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	休眠期(種類による)		生育期				開花期					休眠期(種類による)
置き場	日なた		半日陰か遮光下	日なた								
水やり	3~5日に1回		1~3日に1回	1日1回			1~3日に1回					
主な作業	植え替え・株分け											植え替え・株分け

(関東地方以西基準)

置き場 真夏は半日陰、もしくは50%遮光下。

それ以外の季節は日当たりと風通しのよい場所。

水やり 鉢表面の水ゴケが乾き切る前に行う。

アシナガムシトリスミレは、寒さにやや弱く、冬越し最低温度は15℃。

冬越し 冬芽が出る種類と地上部が枯れる種類がある。どちらも水やりを行う。

【ムシトリスミレの年間の管理・作業暦】

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	休眠期(種類による)		開花期				生育期					休眠期(種類による)
置き場	日なた		半日陰か遮光下	日なた								
水やり	3~5日に1回		1~3日に1回	1日1回			3~5日に1回					
主な作業</td												